参考資料　4

最上川水系河川整備計画【大臣管理区間】

再評価・事後評価

平成１９年8月

東北地方整備局

事業評価実施要領及び細目について

『国土交通省所管公共事業の再評価実施要領』 第６　６項

H15.3.31　国土交通事務次官通知

**　河川事業、ダム事業については、河川整備計画策定後、計画内容の点検のために学識経験者等から構成される委員会等が設置されている場合は、事業評価監視委員会に代えて当該委員会で審議を行うものとする。**

『河川局所管公共事業の再評価実施要領細目』 第６

H16.3.30 国土交通省河川局長通知

**　実施要領　第６の６の規定に基づいて審議が行われた場合には、その結果を事業評価監視委員会に報告するものとする。**

最上川水系流域委員会規約（抜粋）

第2条（目　的）

この委員会は、最上川水系の河川整備計画変更原案及び計画策定後の各種施策の進捗等に関して意見を交換し、東北地方整備局長及び山形県知事に対し意見を述べるものとする。

また、<u>最上川水系の大臣管理区間の河川整備計画に基づく事業のうち、再評価、事後評価の対象事業の評価を行い、東北地方整備局長に対し意見を述べる</u>ものとする。

河川整備基本方針：平成11年12月1日決定

河川整備計画：平成14年11月19日策定

「最上川水系流域委員会」委員名簿

	氏　名	所　属　等
1	青木　孝弘（あおき　たかひろ）	最上川リバーツーリズムネットワーク　事務局長
2	阿部　康子（あべ　やすこ）	水と暮らしを考える下水道の会　会長 （山形短期大学総合文化学科　教授）
3	大久保　博（おおくぼ　ひろし）	山形大学　農学部　教授
4	大沢　八州男（おおさわ　やすお）	日本野鳥の会山形県支部　副支部長
5	風間　聡（かざま　そう）	東北大学大学院　助教授
6	佐藤　五郎（さとう　ごろう）	学校法人椎野学園米沢中央高等学校　教頭
7	柴田　洋雄（しばた　ひろお）	山形大学　理事・副学長
8	髙野　公男（たかの　きみお）	東北芸術工科大学　教授
9	中村　幸雄（なかむら　ゆきお）	山形県土地改良事業団体連合会　会長
10	東　英生（ひがし　ひでお）	山形の野生動物を考える会　代表
11	本間　義一郎（ほんま　ぎいちろう）	山形県内水面漁業協同組合連合会　代表理事会長
12	水戸部　知巳（みとべ　ともみ）	（財）山形県企業振興公社　プロジェクトマネージャー
13	水戸部　浩子（みとべ　ひろこ）	をんな川会議　代表幹事

計　13名

敬称略、50音順

最上川水系河川整備計画（大臣管理区間）　事業の再評価

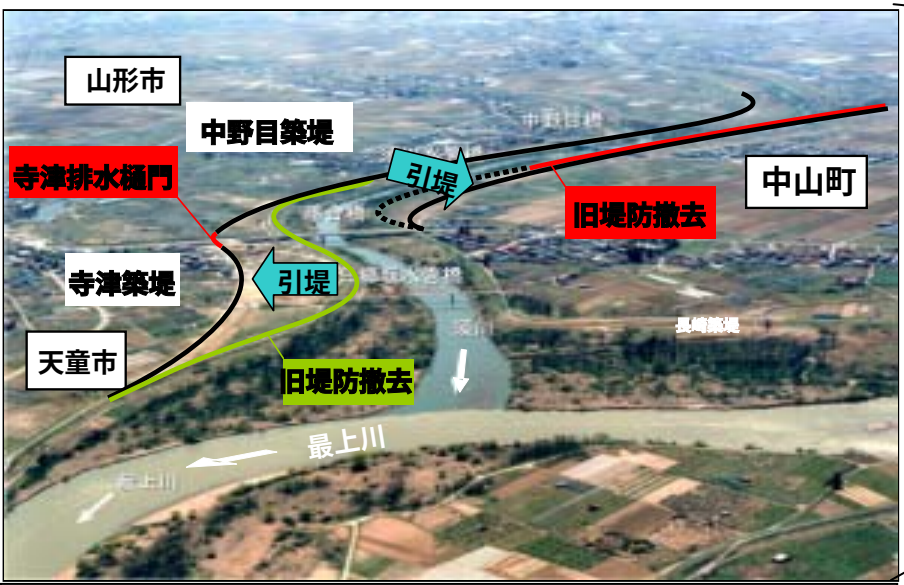
【治水事業の概要】

実施年度　　H14～H43年度（予定）※長井ダムはS59年度から
事業費　　約2，620億円
費用対効果（B/C）　　1．90

○河川改修事業
堤防の整備（量的・質的・引堤）、河道掘削、分水路等）

○洪水調節施設の整備
長井ダムの建設（流水の正常な機能の維持も含む）

○河川管理施設の維持管理
河川管理施設の機能の維持・向上と運用、
河川情報の整備・高度化、河川状況把握の強化等



須川引堤整備状況



最上川水系河川整備計画（大臣管理区間）　事業の再評価

【長井ダム建設の概要】

実施年度　昭和５９年～平成２２年度（予定）
事業費　　約1,６００億円
費用対効果（B/C）　　１．７８



○位置・立地特性

・山形県長井市
・最上川水系支川置賜野川に立地

○ダムの目的

・治水（洪水調節）
・かんがい用水
・流水の正常な機能の維持
・水道用水の供給（長井市）
・発電用水の供給



○長井ダム諸元

・形　　式　：重力式コンクリートダム
・堤　　高　：125.5m
・堤 頂 長　：381m
・総貯水容量：51,000千m3
・堤 体 積　：　1,160千m3
・流域面積　：101.2　km2

最上川水系河川整備計画（大臣管理区間）　事業の再評価

【環境整備事業の概要】

実施年度　　**H7年度～**
事業費　　**33億円**
費用対効果（B/C）　　**9．50**

○最上川フットパスの整備
散策路、案内板、河川横断施設（飛び石）等

○水辺の楽校の整備
白鳥観察テラス、ジャブジャブ池、散策路 等

○水辺プラザの整備
河道整正、スロープ





長井地区（フットパス）



白鷹地区（フットパス）



真室川地区環境整備



窪田水辺の楽校

最上川水系河川整備計画（大臣管理区間）　事業の再評価・事後評価

【消流雪用水導入事業（事後評価）の概要】
実施年度　　H2年度～H17年度

対象箇所	事業費	費用対効果（B/C）
長井市長井地区	49億円	1.93
大石田町大石田地区	23億円	1.75
尾花沢市名木沢地区	8億円	3.27

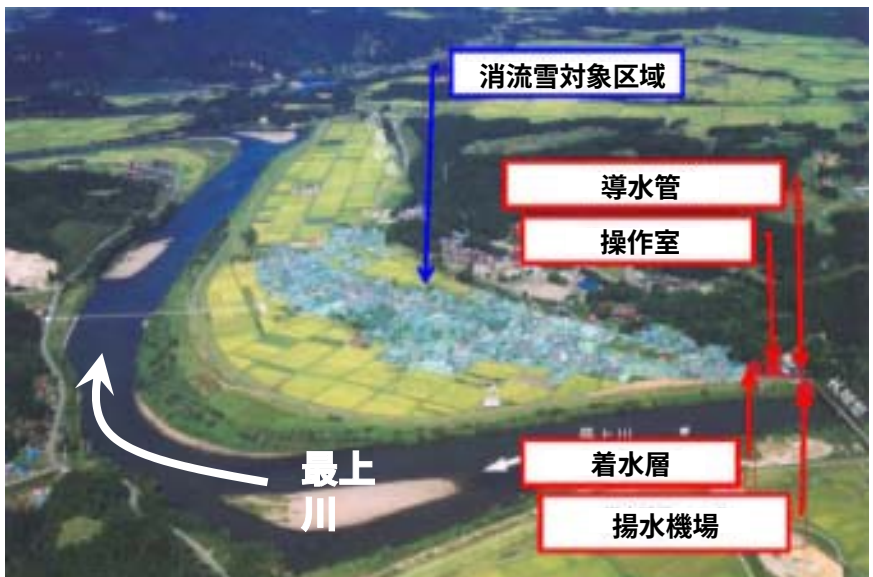
○整備の内容
取水施設、導水管、着水層、操作室等



大石田町大石田地区

【消流雪用水導入事業（再評価）の概要】
実施年度　　H17～H19年度（予定）
対象箇所　　大蔵村清水地区
事業費　　6億円
費用対効果（B/C）　2．38

○整備の内容
取水施設、導水管、着水層、操作室等



大蔵村清水地区

平成１９年６月７日

東北地方整備局長
坪香　伸　　殿

最上川水系流域委員会
委員長　髙野　公男

最上川水系河川整備計画（大臣管理区間）の再評価・事後評価について（意見）

最上川水系河川整備計画（大臣管理区間）の再評価・事後評価に対して、最上川水系流域委員会として意見をとりまとめたので別紙のとおり提出する。

最上川水系河川整備計画の再評価・事後評価について
（第13回 最上川水系流域委員会）

日　時：平成19年 6月 7日(木) 13:00～

場　所：タスパークホテル(長井市内)

①　河川事業の事業再評価について

・事業継続は妥当である。

②　長井ダム建設事業の事業再評価について

・事業継続は妥当である。

③　河川環境整備事業の事業再評価について

・事業継続は妥当である。

・河川空間の活用については極めて重要である。　現在、推進されているフットパス事業同様、地域と連携しつつ、空間としての連続性に配慮し、将来を先取りした事業を展開されたい。

④　消流雪用水導入事業の事業再評価・事後評価について

・(長井地区)　　改善措置及び今後の事業評価の必要はない。

・(大石田地区)　改善措置及び今後の事業評価の必要はない。

・(名木沢地区)　改善措置及び今後の事業評価の必要はない。

・(清水地区)　　事業継続については妥当である。

・本事業は、高齢者の活動が広がるという視点からも評価される事業である。